

## アンケート用紙 A群：保育園・幼稚園の先生用 / B群：小学校の先生用

- 1・2：はじめに貴園（校）の立地環境についてお伺いします。（あてはまるものに を）  
 周辺の交通量は（1:多い 2:中くらい 3:少ない）  
 幹線道路に（1:面している 2:面していない 3:面していないが近い）
- 3：保育・教育活動で子どもたちと園外に出る機会はどれくらいありますか。（ と回数 を）  
 1:週に（ ）回くらい 2:月に（ ）回くらい 3:ほとんどない
- 4：（保育園・幼稚園の先生へ）園外へ出かける目的はなんですか。（おもなものにいくつでも を）  
 1:体作り・運動のため 2:自然と親しむため 3:地域を知り、交流するため  
 4:子ども同士の親睦のため 5:協調性などを養うため 6:交通安全マナーを身につけるため 7:その他（ ）
- 5：外を歩かせるときに、道路などで交通安全上の危険や苦勞を感じますか。（あてはまるものに を）  
 1:いつも感じる 2:ときどき感じる 3:あまり感じない
- 6：歩く空間ではどのような問題を感じますか。（思うものにいくつでも を）  
 1:歩道がなく、すぐ脇を車が通る 2:歩道があるが狭い  
 3:歩道に電柱などの障害物がある 4:歩道がでこぼこして歩きにくい  
 5:歩道を自転車が走る 6:歩道に車が乗り上げている 7:駐車場から車が歩道に出てくる  
 8:曲がり角で車と衝突しそうになる 9:日陰やベンチがない 10:その他（ ）
- 7：横断歩道ではどのような問題を感じますか。（思うものにいくつでも を）  
 1:渡るときに青信号が短い 2:横断中に右・左折車がせまってくる  
 3:信号無視などの違反車がある 4:走行量の多い道路なので常に危険を覚える  
 5:信号がない 6:信号がないので手を上げるが車が止まらない 7:歩道橋を使わなくてはならない 8:その他（ ）
- 8：そのほか、どのような問題を感じますか。（思うものにいくつでも を）  
 1:狭い道も抜け道に利用されて危険 2:車がスピードを出しすぎる  
 3:排気ガスがひどい 4:車の騒音がひどい  
 5:ゆっくり道草を食ったりおしゃべりしたりできない 6:その他（ ）
- 9：実際に事故に遭ったり、遭いそうになったりしたことはありますか。ある場合はその様子を教えてください。（例：歩道のない道で、スピードオーバーの車にひかれそうになった。Etc.）
- 10：道を歩くとき、子どもたちの行動の傾向として次のようなことを感じることはありますか。（いくつでも を）\*丸をつけた傾向が何歳児を対象としているのかわかる場合は、年齢を（ ）にご記入下さい。  
 1:車をよく見ていない（ ） 2:信号をよく見ない（ ） 3:交通ルールをすぐ忘れる（ ）  
 4:興奮しやすい（ ） 5:いきなり走ったり飛び出したりする（ ） 6:ふざける（ ）  
 7:途中でしゃがみこむ（ ） 8:その他お感じのこと（ ）
- 11：40年ほど前からクルマが急増し、それに伴って道を含めた子どもの遊び場が減り、交通事故の危険も増え、子どもが外で遊ぶことが少なくなってきました。移動も今はマイカーがあたり前です。そうしたことの影響として各方面から以下のような問題点が指摘されています。同感するもの（クルマ社会の影響が大きいと思うもの）があれば をつけてください。  
 1:体力や抵抗力が低下している 2:忍耐力が低下している  
 3:子ども同士の関わり合い（異年齢交流など）が減り、たくましさや思いやりの心が育ちにくくなっている 4:思いきり遊べる場がないことがストレスを増幅させている 5:無から遊びを考え出す意欲が減少 6:他者との関わりの機会が減り、公德心が低下している  
 7:その他お感じのことやご意見があればお書き下さい（反論も歓迎です）。（ ）
- 12：子どもを含めた歩く人の安全確保のために、いろいろな道路対策が考えられます。ヨーロッパの各地では、歩行者や自転車を優先したまちづくりが進んでおり、日本でもそうした取り組みが進みつつあります。下記は対策の一例ですが、身近ではどんな対策をとくに望みますか。（いくつでも を）（別紙資料もご参照ください）

- 1:車道と歩道を物理的に区分する（歩車分離）。
- 2:車道の車線を減らして広い歩道や自転車専用道を確保する。
- 3:生活道路では、車が徐行して通るような工夫（道路を蛇行させる、軽い隆起 ハンプ を設けるなど）をする。
- 4:歩道をとれない狭い道では車は一方通行にしたり、スクールゾーンなどは進入を時間帯制限する。
- 5:人と車がすれ違えないような通りは車の進入を原則禁止にする。
- 6:小学校や住宅街を中心とした一定エリア内を歩行者優先区域とし、複数の安全対策を施す(コミュニティーゾーン)。
- 7:横断歩道の歩行者横断時間を長くする。
- 8:横断歩道で歩行者が横断中は右折車・左折車も通さない「歩車分離式信号」にする。
- 9:その他お考えの案（ ）

1 3 : 人命の安全と子どもの健やかな発育を守る視点で交通環境を改善していくには、車の使い方・使われ方にも検討が必要です。どのような対策が必要だと思いますか。(思うものいくつでも を)

- 1:車の利用に規制をかけて走行量全体を減らす
- 2:自主的になるべく車を使わないようにする
- 3:車の走行規制(進入禁止や一方通行化、時間規制など)ゾーンを各地で増やす
- 4:鉄道やバスなど公共交通網を充実させ、マイカーからの利用転換をはかる
- 5:トラックによる物流システムの見直しを図る
- 6:運転マナー教育を向上させる
- 7:免許取得基準を引き上げる
- 8:交通違反の取り締まりや指導強化
- 9:その他( )

1 4 : ( 保育園・幼稚園の先生へ ) 園児の通園の交通手段はどのような状況ですか。

- 徒歩で約( )割      自転車で約( )割      園バスで約( )割  
 マイカーで約( )割      電車やバスで約( )割  
 ( 小学校の先生へ ) 貴校の教職員の通勤手段についておよその割合をお伺いします。  
 徒歩で約( )割      自転車で約( )割      オートバイで約( )割  
 マイカーで約( )割      電車やバスで約( )割

1 5 : 通園(通勤)の手段について、園(学校)としての方針や指導はありますか。

1 6 : 保育・教育にあたるお立場として、クルマ社会と子どもについて、お感じのことがあればお書き下さい。

アンケート用紙   C群：一般保護者用 / C'：心身ハンディ児の保護者等用
----------------------------------------

1 : お子さんは何歳または何年生ですか。

2 : お子さんがよく遊ぶところはどこですか。( 3 ~ 4 個まで を )

- 1:自分や友達の家の中
- 2:家の近くの路地
- 3:空き地や原っぱ
- 4:公園
- 5:児童館
- 6:学校の校庭
- 7:田んぼやあぜ道
- 8:川や海辺
- 9:その他( )

3 : お子さんが自由に遊べる戸外の空間(路地、空き地を含む)は家のそばにありますか。(あてはまるものに を)

- 1:家から 100m内にある
- 2:家から 200m内にある
- 3:それ以上のところにある

4 : 家の周辺や、通園・通学路に、クルマの危険はありますか。(あてはまるものに を)

- 1:大いにある
- 2:ある
- 3:少しある
- 4:ほとんどない
- 5:全くない

6 ~ 1 3 は上記(保育園・幼稚園・小学校の先生用)と同じ(\*設問5はなし)

1 4 : 普段の生活でお子さんの移動のためにマイカーを使いますか。( と回数を )

- 1:1日に( )回くらい
- 2:週に( )回くらい
- 3:月に( )回くらい
- 4:ほとんど使わない
- 5:クルマを持っていない

1 5 : マイカーを使う場合、使用の目的はなんですか。(いくつでも を)

- 1:通園・通学
- 2:塾やクラブに行く
- 3:友達のうちに行く
- 4:買い物に行く
- 5:その他( )

1 6 : マイカーを使う方の場合、使う理由はどんなことですか。(いくつでも を)

- 1:公共の乗り物がなく、自転車や徒歩では遠い
- 2:自転車や徒歩で行けないことはないがクルマの方が早い
- 3:子どもがせがむ
- 4:自転車や徒歩で行けないことはないが交通事故の危険が多い
- 5:ついでにあちこち寄って行く必要がある
- 6:その他( )

- 17 : マイカーを使わない方の場合、使わない理由はどんなことですか。(いくつでも を)  
 1:車を持っていない 2:公共の乗り物がある 3:自転車や徒歩で行ける  
 4:子どもの心身の鍛練のために 5:環境に配慮して乗らないようにしている  
 6:事故を起こす(遭う)のが怖い 7:その他( )

18 : クルマ社会と子どもについて、お感じのことがあればお書き下さい。

アンケート用紙 D群：小学生用 / D'群：心身ハンディ児用

配布時にはルビあり

- 1 : あなたは何年生ですか。(または何才)
- 2 : 男の子ですか・女の子ですか。(あてはまるものに を)
- 3 : 住んでいるところと、小学校の名前を教えてください。
- 4 : 友達の家や外に遊びに行くときや、塾や習い事に行くときはどうやって行きますか。(あてはまるものに)  
 1:歩くことが多い 2: 自転車が多い 3:歩きと自転車と半々  
 4:親にくるまで送ってもらうことが多い 5:電車やバスが多い
- 5 : 学校の行き帰りやどこかに出かけるときの行き帰りにくるまの危ないところはありますか。(あてはまるものに を)  
 1:たくさんある 2:少しある 3:ほとんどない
- 6 : 歩いたり自転車ではしったりする道ではどういう危険を感じますか。(思うものはいくつでも を)  
 1:ガードレールがないのでこわい 2:歩道がせまくてあるきにくい  
 3:歩道に電柱や看板などがあってじゃま 4:歩道がでこぼこしていてあぶない  
 5:歩道を自転車やバイクが走るのこわい 6:歩道にくるまが乗り上げていて歩きにくい  
 7:駐車場からくるまが歩道に出てくるのこわい 8:曲がり角でくるま衝突しそうになるのこわい 9:その他( )
- 7 : そのほかにどんなことを感じますか。(思うものはいくつでも を)  
 1:くるまがスピードを出しているのこわい 2:狭い道に大きなトラックがよく通るのでこわい  
 3:自転車で安心して走れる道がないので困るしこわい 4:ともだちと並んでおしゃべりしながら歩けない  
 5:くるまの排気ガスがくさい 6:その他( ) (8はなし)
- 9 : じっさいに事故にあったり、あいそうになったりしたことはありますか。ある人は、どんなことが書いてください。  
 (例：自転車ののっけて、曲がり角でくるまとぶつかりそうになってこわかった、など)
- 10 : どこでよく遊びますか(3こか4こまで を)  
 1:自分や友だちの家の中 2:自分や友だちの家のまわり(道など) 3:公園 4:学校の校庭  
 5:児童館 6:学童クラブの中 7:あき地や原っぱ  
 8:田んぼやあぜ道 9:山 10:川や海  
 11:その他( )
- 11 : 外にこんな遊ぶところがあったらいい、と思うところはありますか。(5こまで を)  
 1:野球やサッカーのできるような広場 2:遊ぶ道具のそろった公園  
 3:アスレチックひろば 4:土を掘ったりダンボールで家を作ったりできるあき地  
 5:くるまのとおらない道 6:木や草のたくさんある山  
 7:かけっこや花つみのできる原っぱ 8:魚のいる川  
 9:その他( )
- 12 : もしくるまのこない道があったら、何をして遊びたいですか。  
 (例：キャッチボール、ベーゴマ、おにごっこなど)
- 13 : 子どもだけで電車やバスに乗って出かけたことがありますか。(あてはまるものに を)(この設問は小学生のみ)  
 1:ある( )をつかった 2:ない
- 14 : くるまが多すぎると交通事故でたくさんの人が亡くなったりけがをしたり、空気がよごれたりします。そのことを知っていますか。(あてはまるものに を)  
 1:よく知っている 2:あまり知らなかった 3:ぜんぜん知らなかった 4:きょうみがない

資料 2 : 回答者の居住地内訳

A : 保育園・幼稚園先生		計 207
都道府県	市区郡	
東京都 38	稲城市	10
	目黒区	7
	板橋区	6
	豊島区	5
	練馬区	4
	品川区	3
	小平市	1
	武蔵野市	1
	八王子市	1
三重県 35	津市	31
	一志郡	4
鳥取県 27	鳥取市	27
大阪府 16	大阪市	13
	泉佐野市	1
	箕面市	1
	寝屋川市	1
埼玉県 16	入間郡	9
	朝霞市	5
	草加市	1
	越谷市	1
神奈川県 15	横浜市	13
	横須賀市	1
	相模原市	1
高知県 12	高知市	6
	香美郡	6
北海道 11	函館市	8
	岩見沢市	2
	札幌市	1
岐阜県 6	岐阜市	4
	関市	2
茨城県 5	つくば市	5
愛知県 5	名古屋市	5
山形県 3	山形市	3
千葉県 2	松戸市	1
	船橋市	1
熊本県 1	熊本市	1
奈良県 1	生駒郡	1
福岡県 1	筑紫野市	1
不明 13	不明	13

B : 小学校先生		計 133
都道府県	市区郡	
北海道 58	旭川市	6
	小樽市	4
	網走郡	2
	札幌市	2
	帯広市	1
	北見市	1
	長万部市	1
	富良野町	1
	七飯町	1
	苫小牧市	1
	不明	38
東京都 33	多摩市	18
	稲城市	10
	府中市	4
	小平市	1
神奈川県 5	川崎市	3
	横須賀市	1
	相模原市	1
埼玉県 5	朝霞市	2
	桶川市	1
	さいたま市	1
	岩槻市	1
兵庫県 5	西宮市	2
	不明	3
大阪府 3	大阪市	1
	東大阪市	1
	河内長野市	1
三重県 3	松阪市	3
奈良県 2	生駒郡	2
福岡県 2	筑紫野市	2
熊本県 1	熊本市	1
栃木県 1	黒磯市	1
不明 15	不明	15

C : 一般保護者		計 532
都道府県	市区郡	
東京都 128	稲城市	78
(区部33	世田谷区	13
市部90	練馬区	6
不明5)	目黒区	4
	武蔵野市	4
	三鷹市	2
	多摩市	2
	杉並区	2
	千代田区・渋谷区	各1
	港区・中野区	各1
	大田区・板橋区	各1
	北区・足立区	各1
	調布市・小平市	各1
	小金井市	1
	東村山市	1
	不明	5
高知県 91	香美郡	78
	伊野町	1
	不明	12
埼玉県 85	越谷市	33
	春日部市	23
	草加市	5
	さいたま市	1
	朝霞市・戸田市	各1
	毛呂山町	1
	不明	20
三重県 43	津市	35
	松阪市	2
	安芸郡	2
	久居市・四日市市	各1
	亀山市・嬉野町	各1
大阪府 31	大阪市	15
	堺市	2
	八尾市・枚方市	各1
	摂津市・泉佐野市	各1
	南河内郡	1
	不明	9
茨城県 26	つくば市	24
	牛久市	1
	藤代町	1
北海道 23	札幌市	21
	岩見沢市	2
岐阜県 19	岐阜市	6
	不明	13
千葉県 15	市川市	9
	柏市・松戸市	各1
	千葉市・船橋市	各1
	浦安市	1
	不明	1
熊本県 8	熊本市	4
	不明	4
神奈川県 7	横浜市	4
	川崎市	1
	相模原市	1
	二之宮町	1
岡山県 7	岡山市	6
	総社市	1
兵庫県 6	神戸市	2
	尼崎市	2
	西宮市	1
	不明	1
鳥取県 6	気高郡	4
	鳥取市	2
山形県 4	山形市	4
奈良県 4	生駒郡	4
愛知県 3	名古屋市	2
	春日井市	1
福岡県 3	筑紫野市	3
山梨県 2	中巨摩郡・北巨摩	2
静岡県 1	天竜市	1
京都府 1	相楽郡	1
広島県 1	賀茂郡	1
不明 18	不明	18

C' : 心身ハンディ児の保護者等		計 89
都道府県	市区郡	
新潟県 50	不明	50
岡山県 10	岡山市	7
	倉敷市	3
東京都 7	稲城市	3
	小平市	2
	武蔵野市	1
	武蔵村山市	1
大阪府 6	高槻市	2
	茨木市	1
	不明	3
兵庫県 5	不明	5
山形県 5	山形市	5
奈良県 2	生駒郡	2
鳥取県 1	鳥取市	1
不明 3	不明	3

D : 小学生		計 437
都道府県	市区郡	
北海道 292	小樽市	283
	札幌市	8
	岩見沢市	1
東京都 44	稲城市	17
	世田谷区	8
	町田市	5
	三鷹市	3
	杉並区	2
	港区	1
	豊島区	1
	渋谷区	1
	足立区	1
	小平市	1
	東村山市	1
	小金井市	1
	多摩市	1
	国立市	1
大阪府 40	東大阪市	29
	大阪市	8
	八尾市	1
	南河内郡	1
	高槻市	1
千葉県 15	市川市	9
	船橋市	2
	千葉市	2
	松戸市	1
	浦安市	1
熊本県 7	熊本市	7
兵庫県 6	西宮市	3
	神戸市	2
	尼崎市	1
岡山県 5	岡山市	5
鳥取県 4	気高郡	4
神奈川県 4	横浜市	3
	相模原市	1
埼玉県 4	草加市	2
	さいたま市	1
	戸田市	1
福岡県 3	筑紫野市	3
愛知県 3	名古屋市	2
	春日井市	1
奈良県 2	奈良市	2
三重県 2	松阪市	1
	津市	1
広島県 1	賀茂郡	1
?	設楽郡	1
不明	不明	5

D' : 心身ハンディ児		計 23
都道府県	市区郡	
新潟県 14	不明	14
山形県 5	山形市	5
東京都 2	稲城市	1
	小平市	1
山梨県 1	甲府市	1
奈良県 1	不明	1

## 「さいごに」

アンケートの回答には、自動車事故の危険と隣り合わせの子どもたちの生活環境が浮かび上がっています。自動車事故の中でも理不尽なのは、物理的にクルマとは太刀打ちできない歩行者（自転車も含めて）、とくに子どもの被害です。しかし、回答が示すような現状の中、毎日各地で犠牲者が出ており、にもかかわらず再発防止の根本対策はほとんどあいまいにされたまま、「気をつけよう」という言葉だけが行き交い、また同じような事故が繰り返されています。

このアンケートに対して「クルマ社会の悪い面ばかり聞き出そうとしている」というご意見も数件寄せられました。しかし、負の面は命や人権にかかわることでありながら、真剣に問われることがあまりにも少ないように思われます。

クルマに頼る暮らしは、子どもの心身に及ぼす影響もあれば、排ガスによる健康被害や環境汚染などの問題もあります。子どもも大人も命の安全を第一に暮らせるようにするには、回答にもみるような歩道や信号の改善、公共交通網の拡充などをはじめ、今の交通社会のあり方全体を、さまざまな角度から見直していく必要があるのではないのでしょうか。

### クルマ社会を問い直す会

mail:kstn@k.email.ne.jp      <http://www.ne.jp/asahi/z/z/tnk>

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-19 銀鈴会館 506 生活思想社内

TEL&FAX:03-5261-5931

#### クルマ社会を問い直す会のご紹介

1995年春に結成された全国組織の市民運動団体です。クルマ優先でなく人優先の社会へ、安全に道を歩きたい、排気ガス、クルマ騒音のない生活を、公共交通、自転車は私たちの足、減らそうクルマ、増やそう子どもの遊び道、の5つのスローガンのもと、クルマに依存した社会構造による多岐にわたる問題に取り組んでいます。道路写真展や公共交通推進のイベント開催、関連機関への改善要請、クルマ問題に関わる講演会や勉強会の開催・支援、関連書籍の出版（99年は岩波ブックレット『クルマ社会と子どもたち』を出版）などの活動をしています。皆さんもどうぞご参加ください。

2004.3.25